

「子供の心を育てる一声を」

教育と福祉の融合で ～こども総合支援センター新施設への移転によせて～

子ども支援センター長 高木 康子

先月、こども総合支援センターは、本町小学校の跡地に移転しました。3・4階が支援センターのスペースですが、延べ床面積は従来の3倍になります。個別相談室、心理療法室、家族療法室等々も新設され、施設としての機能は充実します。

また、福祉の方では、これまでも要保護児童対策地域協議会の事務局としての役割も果たしてきましたが、新たに「子ども家庭総合支援拠点」が設置されました。子供と家庭の実情把握、支援に関する情報共有、子育て全般の相談対応、児童虐待の相談・通告の受付など、18歳までの全ての子供とその家庭及び妊産婦等を支援する専門性を持った機関としての発足です。

「子ども支援センター」と「こども総合支援センター」。教育と福祉、それぞれ別の組織が同じ施設で窓口を一つにして業務を開始したのが、平成22年からのことです。子ども支援センターは平成14年に設置されて以来、主に教育相談や不登校支援等を中心とした業務を担ってきました。様々な相談に接していると、その子供を取り巻く環境、背景がつかめないうちは抱える問題の解決への糸口にはたどり着けないことが多々あります。一見そうは見えなくても、実は虐待や不適切な養育が影響している場合もたくさんあります。そうした事案に対応していくには、福祉と教育が融合した今のセンターの形態は非常に機能的だと言えるでしょう。養育への継続支援が必要な家庭や虐待の認められる家庭の児童生徒は要保護児童対策地域協議会に登録され、その後、進行管理されることとなります。収集した情報のうち、その子供理解のために必要な成育環境や経歴などは、センター内ではいつでも情報共有できます。その背景を把握した上で、適切な見立てを行い、どこにどう働きかけていくことが効果的なのかを検討していけるのです。こうした支援センターの在りようは、全国的にみても先進的な取り組みとして、他府県からも注目を集めています。

昨年度、和歌山市の虐待件数は789件。一昨年度より150件の増加です。不適切な養育によって子供の脳が委縮し、発達障害と認定される子どもの脳と同じ形に変形してしまうことは、脳科学の発展で明らかにされています。子供を取り巻く背景を支援者は深く理解し、不適応へのより適切な対応が望まれます。新施設への移転を機に、子ども支援センターでは、福祉との連携、そして学校現場との連携で、より実効性のある支援の実現に努めていきたいと考えています。



令和2年1月(主なもの)

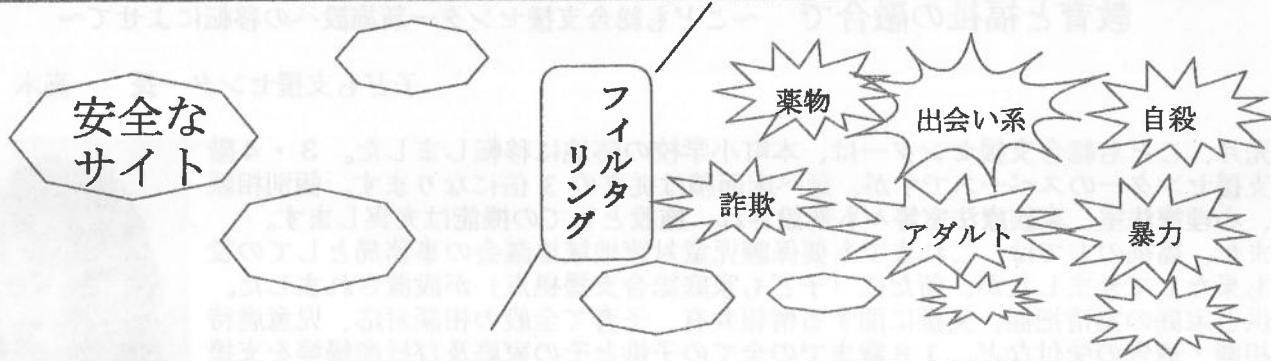
6日	登校時補導 7:30~ 青パト巡回 11:30~
7日	登校時補導 7:30~ 加太中薬乱防止教室(全学年) 14:35~ 小生研1部(湊小) 16:00~
8日	登校時補導 7:30~ 宮前小情報モラル教室(4年) 10:45~
9日	加太小情報モラル教室(4~6年) 9:35~ 青えびす補導(聖天宮 水門神社) 18:30~
10日	えびす補導(聖天宮 水門神社) 18:30~
14日	地域若者支援連絡会議(ビッグ愛) 14:00~
15日	青パト巡回 7:30~14:45~ 西署管内学警連(児相) 13:30~
17日	第2ブロック生指連絡協議会(昼林) 13:30~ 学警連情報交換会(華月殿) 19:00~
20日	楠見中薬物乱用防止教室(全学年) 9:50~ 東署管内学警連(児相) 13:30~ 少年保護機関打合せ(少年C) 10:00~ 生徒指導幹事会(少年C) 13:30~
22日	第2回いじめ不登校検討委員会(支援C) 14:30~ 四箇郷北小情報モラル教室(6年) 9:40~ 青パト巡回 14:00~
23日	中学校生徒指導主任会(子ども総合支援C) 9:00~
24日	紀中ブロック青少年C臨地研修(浪速少年院) 13:30~
27日	北署管内学警連(河西中)・サポート会議(支援C) 13:30~
28日	四箇郷北小情報モラル(3年)薬乱防止教室(6年) 9:30~
29日	四箇郷北小情報モラル(3年) 10:30~
30日	西和佐小薬物乱用防止・情報モラル教室(6年) 13:35~
31日	城東中薬物乱用防止教室(全学年) 13:25~ サポートチーム会議(教文C) 16:00~

令和2年2月予定(主なもの)

3日	センター便り発行 青パト巡回 7:30~14:45~ 楠見西小不審者対応訓練 9:40~ 子ども・若者支援庁内連絡会議(教文) 13:30~
4日	高積中情報モラル教室(1・2年) 14:25~ 太田小情報モラル教室(4年) 14:35~ 少年保護関係機関会議(ビッグ愛) 14:00~
5日	社会教育委員第3回定例会議(勤総) 15:00~ 青パト巡回 14:45~
6日	小生研情報交換会 19:00~
7日	太田小情報モラル教室(6年)8:55~西署管内学警連(少年C) 13:30~
10日	市要保護児童対策地域協議会実務者会議(支援C) 14:00~ 少年C運営会議(中央コミセン) 10:00~ 青パト巡回 13:30~ 市管轄警察署被害者支援・相談ネットワーク(北署) 13:30~ 標準服推進委員会理事会(本庁) 18:30~
14日	卒業式関係3署廻り 市子ども・子育て会議(勤総) 14:00~ 小生研定例会(藤戸台小) 16:00~
17日	青パト巡回 7:30~14:45~ 東署管内学警連(明和) 13:30~
18日	岡崎小不審者対応訓練 10:00~
20日	淡小情報モラル(保護者 4~6年) 14:35~ 生指主任会(子ども支援C) 9:30~ 宮北小不審者対応訓練 10:00~
21日	第2ブロック生指連絡協議会(和工) 13:30~
25日	サポート会議(支援C) 13:30~ 青パト巡回 14:45~
26日	P女性代表情報モラル教室(教文) 10:00~
27日	地域援助推進協議会(少年個別所) 13:30~
28日	所内会議 8:30~ 青パト巡回 14:45~ 近畿青少年補導C連絡協議会理事会(天理) 14:00~ 東署管内少年補導員研修会(東署) 17:00~

まさか！解除？ フィルタリングは必要です！

- ・コミュニケーションサイトの利用を通じて被害にあった子供（18歳未満）のうち、約95%が**フィルタリング**を解除していました。
- ・フィルタリングの利用は**法律で保護者の責務**となっています。



- ### フィルタリングを利用することで……
- ・子供にとって有害なサイトやアプリへのアクセスを制限することができます。
 - ・フィルタリングは子供たちを守る武器です。
 - ・子供にせがまれても安易にフィルタリングを解除しないでください。

ネットトラブルから守るためには、フィルタリングが絶対に必要です。
保護者の理解で、お子様の端末にあったフィルタリングの設定を!!

和歌山県

えびす補導

1月9日（木）・1月10日（金）と恒例のえびす補導が聖天宮及び水門神社で実施されました。

天候にも恵まれたたくさんの参拝者が訪れる中、警察・少年補導員・地域安全推進員・学校関係者・少年センター等の関係機関が連携しながらパトロールを実施し、特に何事もなく終えることができました。

関係機関の皆様方、夜遅くまで熱心なパトロールありがとうございました。



なやんだとき、ニまったとき 相談ダイヤル

《様々な相談》

こども総合支援センター 402-7831 月～金 9:00～21:00

子どもと家庭のテレフォン110番 447-1152 月～金 9:00～20:00

和歌山児童家庭支援センターきずな 460-8044 土日祝 9:00～16:30

県教育委員会義務教育課児童生徒支援室 422-7000 月～金 9:00～18:00

13:00～17:00

《いじめに関する相談》

少年センター 425-2351 月～金 9:00～16:00

ヤングテレホン・いじめ110番 425-7867 月～金 9:00～17:45

24時間子どもSOSダイヤル 0120-0-78310 毎日 24時間対応

《命に関する相談》

和歌山いのちの電話 424-5000 毎日 10:00～22:00



和歌山市教育委員会 いじめ・不登校問題に関する検討委員会